

Z-2: ランチョンセミナー

エダンググループ ジャパン株式会社

開催日時・会場 9月3日(火曜日) 12:10 - 13:10 B101(1階)

ワンランク上の大学研究力を目指すために、いま必要なもの

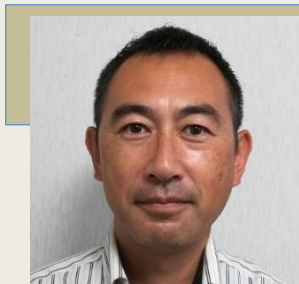
～研究者主体のトレーニングが変えていく、研究者とURA～

大学の研究力強化を目指し、日々邁進されているURAの方々から、下記のような課題をお聞きすることがあります。

- ・ 研究プロジェクト企画立案支援をもっと効率よく提供する方法はないか？
- ・ 研究成果(論文)の質と量をもっと上げていくにはどうしたらいいか。
- ・ 研究者のレベルアップのため、年に数回のセミナーを実施しているが、効果や進捗を把握しにくい。また、多数が同時に参加するセミナー形式には、受講レベルや、参加者限定といった課題も感じる。
- ・ 若手研究者への指導と教育は、中堅・シニア教員の負担になっているのではないか。
- ・ シニア研究者にも、必要な情報を適時的確に提供するために、URAとして何ができるだろうか。
- ・ ハゲタカ・ジャーナルへ投稿するなど、正当に評価されない環境に陥らないためにはどうしたらよいただろうか？

エダングは、大学に求められる国際化や、Vitae/Euraxessなどがデザインするキャリア・ディベロップメントを念頭に、大学の研究力を長期的視点からみたレベルアップの方法としての「研究者主体トレーニング」とその意義を提唱し、また皆様とともに考えてまいりたく存じます。

オーガナイザー



山崎 猛 エダンググループ ジャパン 株式会社
コマーシャル・チーム
コマーシャル・シニア・マネージャー

学術出版社にて約12年間、世界的なジャーナルおよび電子書籍の営業およびマーケティングを経験後、2019年よりエダングに入社。幅広い研究分野をカバーする専門家(エキスパート)を有する弊社が、研究者へ提供できる、さらなるサポートの拡充を追求する。

講演者



Scott McCleary (スコット マクリアリ)
エダンググループ ジャパン 株式会社
エデュケーション・チーム
インストラクショナル・デザイン・マネージャー

2003年より、インストラクショナル・デザイン(教育設計)およびeラーニングに従事し、トレーナーおよび教育コース開発者として、ベネッセ、ソニー、東芝、外務省、防衛省、他40以上の機関と関わる。一方、アカデミックおよびビジネス英語の教育者としての顔も持ち2007年から嘉悦大学で教鞭をとる他、学習院大学、ベルリン経済法科大学の教育コースをデザインを担当する。2018年にエダングに入社し、現在に至る。